

Japanese Red Cross Narita Hospital

基本的技術・判断力・知識を身につけ
エキスパートを養成

脳神経外科

脳卒中や頭部外傷などの緊急疾患への24時間対応に限らず、脳腫瘍や機能的神経疾患など多岐にわたる脳神経外科疾患を幅広く cover し、地域の中核病院として大きな役割を担っています。脳卒中では特にクモ膜下出血の治療に力を注いでおり、脳動脈瘤の手術件数は県内でも有数です。脳神経内科と合同で虚血性脳血管障害の治療にあたり、急性期血栓回収療法、頸動脈ステント留置、外科的治療の必要な症例に対しては、頸動脈血栓内膜剥離術、頭蓋内外バイパス手術など数多く行っています。脳ドックによる検診では、未破裂脳動脈瘤や無症候性脳梗塞などの発見、治療に努めています。



副院長・第一脳神経外科部長兼脳卒中センター長

中村 道夫

日本脳神経外科学会専門医

01 研修期間

1～2 年間

02 目的

多彩な神経症状・精神症状を呈する疾患の中から脳神経外科的疾患を的確に鑑別するための基本的態度・判断力・技術・知識・手術手技を習得する。

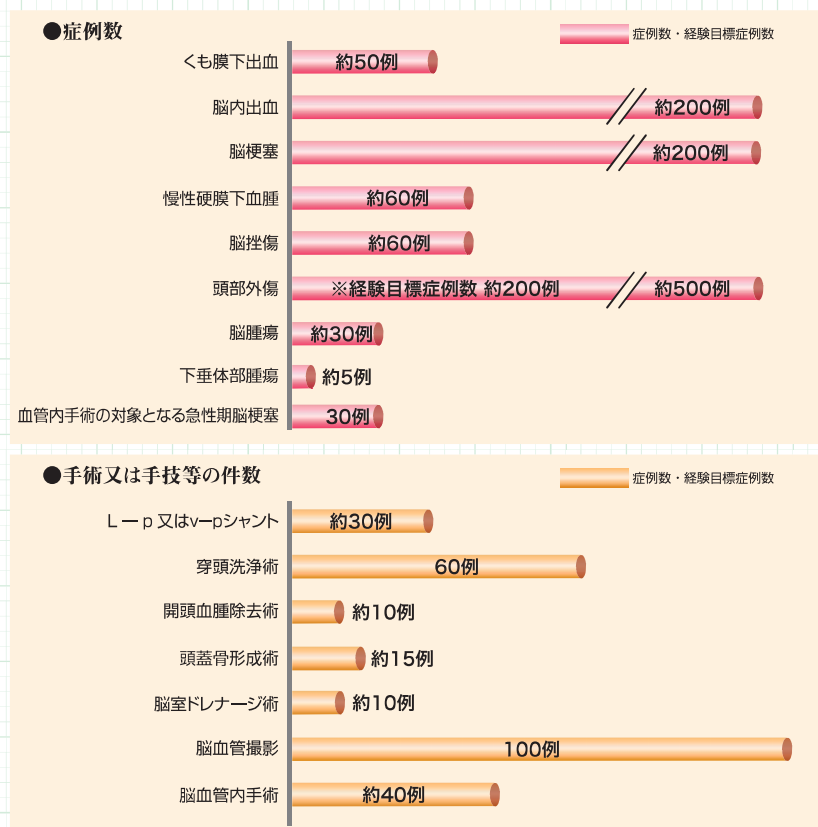
03 到達目標（目標、長期目標、一般目標、取得手技、コンセプト等）

- (1) 日本脳神経外科学会専門医の資格取得のための準備期間とする。
- (2) 脳血管撮影の手技、外傷、水頭症の手術手技及び脳神経外科疾患全般の治療手技を習得する。
- (3) 脳血管内治療の手技を習得する。

04 取得可能資格

学会名	取得可能資格	学会の研修施設等指定・認定状況
日本脳神経外科学会	脳神経外科専門医 (資格取得のための準備)	日本脳神経外科専門医訓練施設
日本脳神経血管内治療学会	日本脳神経血管内治療専門医 (資格取得のための準備)	
日本脳卒中の外科学会	脳卒中の外科技術認定医 (資格取得のための準備)	
日本脳卒中学会	日本脳卒中学会認定 脳卒中専門医	
日本神経内視鏡学会	神経内視鏡専門医	

05 1 年間の研修期間中に経験する症例等について



脳動脈瘤クリッピング、脳腫瘍摘出などの major 手術及び血管内手術にも数多く関わっていただきます。